

東日本大震災学生派遣ボランティア

大船渡隊

第一班

茅野大志・坂本啓二・坂本円花・佐藤佳美・干場先生夫妻

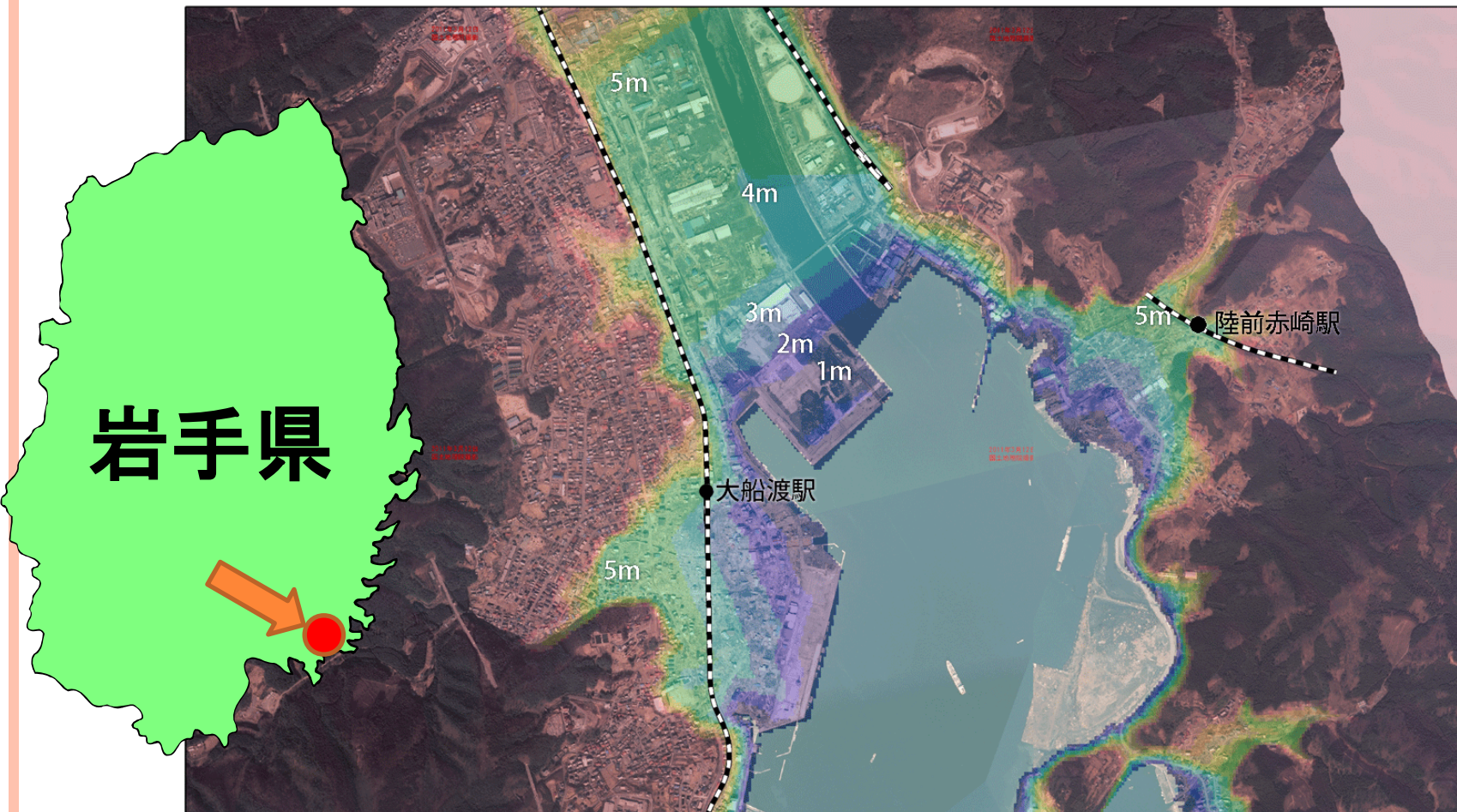
第二班

竹本愛・角田直未・地主結・後藤真理子・永幡先生



Today is the first day of the rest of your life.

大船渡



岩手県



地図: 国土地理院 基盤地図情報2500 大船渡市
空中写真: 国土地理院(2011年3月12日) ※空中写真の座標は変動前に修正
作成: 北海道大学大学院文学研究科 橋本雄一, 修士1年 川村 社

0 100 200 400 m

・ <http://chiri.let.hokudai.ac.jp/~you/map.html> より引用

チャイルド・ファンド・ジャパンとは

・1975年より、アジアを中心に貧困の中で暮らす子ども達の健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動をしているNPO団体である。

・酪農学園大学と共同・協力して東日本大震災への緊急支援を実施している。

共同・協力



状況

- 災害から約2カ月が過ぎている。
- 避難所への物資供給は十分足りている。
- 未だ瓦礫などの片付けが済んでいない地域がある。
- 多くの人手が必要な場所も・・・



ライフライン復旧について

- 多くの避難所は電気・ガスが通じている。
- 水道は依然として通っておらず、多くの避難所は給水車に頼っている。
- 固定電話は避難所によって差がある。



被災地の状況



運動場にも仮設住宅が



拠点での作業風景



避難所での聞き込み作業

09:00 ボランティアセンター

↓
避難所へ移動

↓
聞き込み・情報入力

↓
※ 繰り返し

↓
16:00 ボランティアセンター





←避難所の給水設備
✓避難所へ行く階段
（約80段）
↓仮設住宅



今後の課題

- ・避難所への情報伝達
- ・行政, NPO, ボランティアの連携
 - ・支援の退き際(復旧→復興)
- ・仮設移動後のコミュニティ形成
 - ・個々のニーズへの対応

マッピング作業



マッピングに落とし込んでいく情報

1. 食事
2. 避難所の状態
3. ライフライン
4. 子供の数、状態
5. 仮設住宅
6. 避難所の雰囲気



チーム『酪農大』として長期的な活動

マッピング



これからを見据える
これからを生きていくための
ツール

今後の展開

マッピングの完成と

被災者の方々のニーズの

学生として何

が

できるのかを

考え

実行

していくことが

今後の課題

・目指すのはあくまで

・マッピング作業や



感想

入浴中
です

後ノ入
湯泉

※写真は後ノ入公民館の自家製五右衛門風呂

ご清聴ありがとうございました



左から、チカ・よ、しー・もこ。
クラ-フ・かずさん ボランティアセンターにて。

April 30 - May 7, 2011

